

北里大学医療衛生学部 半期の主なニュースと魅力を満載!!

COVID-19 対策北里プロジェクト

医療衛生学部の係わり

北里大学における感染症研究の遂行は一つの使命であり、医療衛生学部新校舎にもSARS-CoV-2を取り扱えるBSL3実験室が設置されています。現在、医療衛生学部が係わっているCOVID-19対策北里プロジェクトの概要について簡単に紹介します。

を防ぐ努力が続けられています。

この未知の感染症によって大きく変貌し、現在も感染拡大

のライフスタイルは像を示します。私達

るなど幅広い臨床像を

染した場合、無症状から風邪症状、肺炎

重症化して死に至るなど幅広い臨床像を示します。私達

ウイルス 2 (SARS-CoV-2) は、人に感

acute respiratory syndrome corona

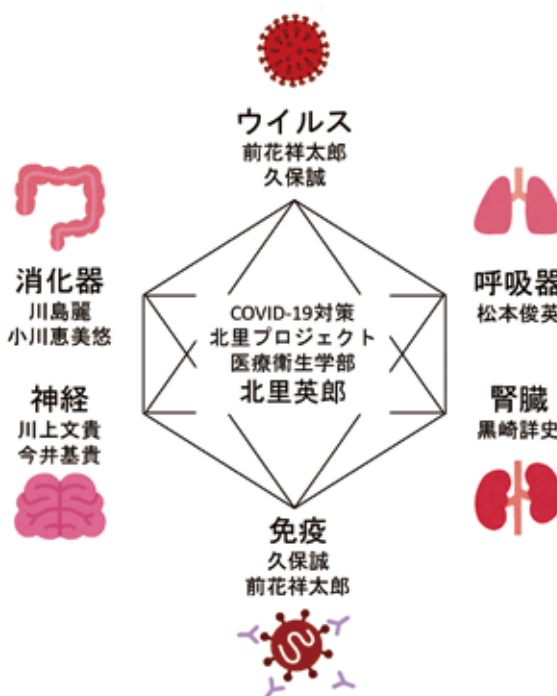
ウイルス感染症 (COVID-19) は瞬く間に世界へ拡散しパンデミック (世界的大流行) となりました。COVID-19の原因ウィ

ルスとある severe



再生医療・細胞デザイン研究施設
動物実験部門
准教授

久保 誠



COVID-19 対策 北里プロジェクト 医療衛生学部組織図

メディカルセンター植松崇之先生より感染マウスの組織など分与) を利用したSARS-CoV-2の病原性及びCOVID-19の病態解析、③消毒剤、建材や紫外線などによる抗SARS-CoV-2効果の検証などを行っています。臨床研究として、④北里大学病院に入

院した患者検体からのウイルス分離と株の

COVID-19対策北里プロジェクトは、2020年3月19日にCOVID-19治療薬を早期に見出すことを目的として立ち上げられ、基礎研究と臨床研究の両軸で展開されています。医療衛生学部は橋渡的存在として、両研究に携わっています。基礎研究として、①イベルメクチンやその誘導体によるSARS-CoV-2増殖抑制機序の解

明、②SARS-CoV-2感染動物モデル(北里

COVID-19対策北里プロジェクトは、2020年3月19日にCOVID-19治療薬を早期に見出すことを目的として立ち上げられ、基礎研究と臨床研究の両軸で展開されています。医療衛生学部は橋渡的存在として、両研究に携わっています。基礎研究として、①イベルメクチンやその誘導体によるSARS-CoV-2増殖抑制機序の解

明、②SARS-CoV-2感染動物モデル(北里

COVID-19対策北里プロジェクトは、2020年3月19日にCOVID-19治療薬を早期に見出すことを目的として立ち上げられ、基礎研究と臨床研究の両軸で展開されています。医療衛生学部は橋渡的存在として、両研究に携わっています。基礎研究として、①イベルメクチンやその誘導体によるSARS-CoV-2増殖抑制機序の解

明、②SARS-CoV-2感染動物モデル(北里

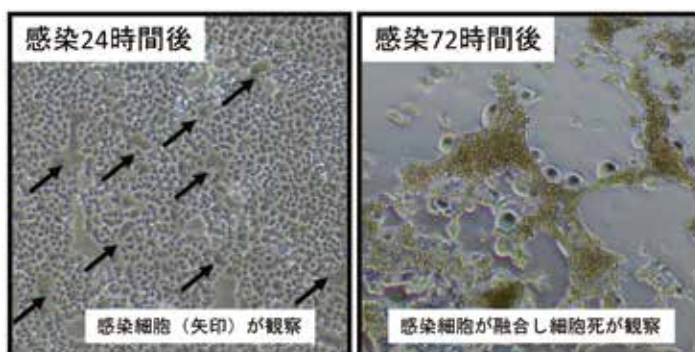
COVID-19対策北里プロジェクトは、2020年3月19日にCOVID-19治療薬を早期に見出すことを目的として立ち上げられ、基礎研究と臨床研究の両軸で展開されています。医療衛生学部は橋渡的存在として、両研究に携わっています。基礎研究として、①イベルメクチンやその誘導体によるSARS-CoV-2増殖抑制機序の解

明、②SARS-CoV-2感染動物モデル(北里

COVID-19対策北里プロジェクトは、2020年3月19日にCOVID-19治療薬を早期に見出すことを目的として立ち上げられ、基礎研究と臨床研究の両軸で展開されています。医療衛生学部は橋渡的存在として、両研究に携わっています。基礎研究として、①イベルメクチンやその誘導体によるSARS-CoV-2増殖抑制機序の解

明、②SARS-CoV-2感染動物モデル(北里

COVID-19対策北里プロジェクトは、2020年3月19日にCOVID-19治療薬を早期に見出すことを目的として立ち上げられ、基礎研究と臨床研究の両軸で展開されています。医療衛生学部は橋渡的存在として、両研究に携わっています。基礎研究として、①イベルメクチンやその誘導体によるSARS-CoV-2増殖抑制機序の解



SARS-CoV-2を感染させたVeroE6/TMPRSS2細胞

同定、⑤血清を用いた中和抗体価の測定を行っています。図のように、医療衛生学部でも多くの研究者が本プロジェクトに携わり、COVID-19に関する新しい知見を積み上げている最中です。また、附置研究の共同研究としても展開し、本プロジェクト遂行のために施設内に病理解析を行う場所や新たな機器の導入なども進めています。

COVID-19による様々な制約の中で、本プロジェクトへの参加が学部内外の研究協力体制を強力に推し進めたことも事実です。この人的交流が学部にとっても新たな好循環に繋がることを期待しています。

COVID-19 臨床心理学の視点から

若年者の危機と効果的なストレス対処法



保健衛生学科
精神保健学
准教授
深瀬 裕子

今回はコロナ禍のストレス対処法について書かなければならないのですが、かくいう私がとてもストレスを感じていて、何とかならないかと研究¹⁾を始めた次第です。

コロナ禍のストレス研究は、2020年3月までは中国から数件報告された程度でしたが、その後、世界中で研究されるようになり、現在では特定の困難を抱えた方を対象にしたり、追跡調査によって詳細な検討が行われています。

これらの研究を概観すると、ストレスを感じやすいのは若年、女性、独身、否定的な見方をする人といえそうです。私たちの研究²⁾でも、うつ症状を有する者の割合は若年群で多く、コロナ前のうつ症状(EPHUS-10)の割合(28%)と比べると若年・中年群で増加している可能性が示されました(図)。

若年者はストレス対処法を使いこな



図. 国内感染者数と世代別のうつ症状が認められた者 (PHQ-9 $\geq$ 10) の割合
・2020年7月、9月、2021年1月、9月のすべての調査に参加した若年群(20~39歳)392人、中年群(40~64歳)700人、高齢群(65~79歳)429人が対象。
・国内の新規感染者数の情報提供はNHK

1) この研究は村田学術振興財団研究助成と北里大学保健衛生学部特別研究費の助成を受けました。
2) Fukase, Y., Ichikura, K., Murase, H., Tagaya, H. Depression, risk factors, and coping strategies in the context of social dislocations resulting from the second wave of COVID-19 in Japan. BMC Psychiatry 2021, 21: 33.

せていないことが一因と推察されています。ストレス対処法には個人・環境要因が影響するため、効果的なものを提案することは難しいのですが、複数の論文が飲酒量の増加はNG、適度な運動は効果的であると指摘しています。(自戒の念を込めて)家にいるとだらお酒を飲んでしまう方は下の記事をご一読ください。また、エレーターではなく階段を使ったり、キャンパス散策もおすすめです。

臨床心理相談センター市民講演会の報告



保健衛生学科
心理学
教授
村瀬 華子

新型コロナウイルスの感染拡大による自粛生活が続いたため、家庭での飲酒量が増えたと報告されています。このような変化を受けて、WHOも家庭での過剰な飲酒は、健康問題の悪化や家庭内暴力などのリスクを高める可能性があります。しかし、日常的に飲酒をされる方であれば、このようなリスクは既に「ご存じか」と思います。では、なぜリスクは知っていても、お酒はやめられない・減らせないのでしょ

うか？

北里大学附属臨床心理相談センターでは去る8月21日に「お酒をやめられなくなる理由とやめる方法」というテーマで市民講演会を開催しました。飲酒

を続けると脳や体の機能が変化し、飲酒行動を「癖」として学習してしまうメカニズムをご説明し、一度学習した「癖(飲酒行動)」を変容させる具体的な方法を、心理学のエビデンスと手法に基づいてご紹介しました。

「自分は大丈夫かな？」と気になっても、お酒に関する質問や相談をするのは勇気がいるものです。今回は顔が見えないオンライン開催だったこともあってか、関東・東海地方在住の当事者から医療者など幅広い方々にご参加いただきました。多くの方にとって、お酒との付き合い方を見直すきっかけとなった事を願っています。

北里大学附属臨床心理相談センター
市民講演会

お酒をやめられなくなる理由とやめる方法

開催日 2021年 8月21日(土)
14:00~15:30

WEB開催

講演テーマ
お酒をやめられなくなる理由とやめる方法
我が国でのアルコール依存症患者数は189万人と推定されています。これは2008年調査に比べて約1.5倍に増加しています。この増加は、お酒の飲み過ぎや、お酒の飲み過ぎによる健康被害の増加が原因と考えられています。この講演では、お酒の飲み過ぎを防ぐための具体的な方法を紹介します。

講師 村瀬 華子 教授
北里大学保健衛生学部 教授
北里大学大学院医学系研究科 教授

北里大学大学院医学系研究科
北里大学臨床心理相談センター
https://www.kitasato-u.ac.jp/ccp/

お問い合わせ先 北里大学附属臨床心理相談センター
〒115-8515 東京都文京区千石1-15-1 TEL 03-778-9324 E-mail kouenki.k.koudan@gmail.com

神奈川県住宅供給公社及びシニアライフ振興財団との連携・協力に関する基本協定の締結



リハビリテーション学科
理学療法専攻 地域理学療法
准教授

上出 直人

北里大学医療衛生学部では、神奈川県住宅供給公社及び一般財団法人シニアライフ振興財団との間において、公社および財団の両法人が管理・経営する団地の入居者及びその周辺地域住民の健康寿命延伸に向けた取組み及び研究を推進し、地域の高齢者が住みやすい活力のある地域社会の形成に寄与することを目的とした連携・協力に関する基本協定を2021年10月1日に締結いたしました(協定期間…2024年3月31日まで)。

これまで、リハビリテーション学科の有志の教員を中心としたメンバーで、地域の高齢者の健康づくりに関する研究や実践を行なってまいりました。この基本協定は、これまで大学に蓄積してきた知見や経験を生かし、地域の高齢者が住み慣れた地域で健康に暮らし続けることができるよう、健康づ

くりや地域づくりに資する産学官協働の取り組みを推進していくための協定となります。今後、本協定に基づいて、



基本連携協定における締結式の様子

で地域保健に関する教育実践の場としても有益であるほか、取り組みの成果を社会に還元していくことで、持続可能な健康地域づくりの方策を北里大学から社会へ発信していきます。

今後の取り組みに関しましては、相模原市内にあります約2500戸の住宅を有する相武台団地(相模原市南区相武台団地2-3-4)を活動拠点として、次のような取り組みを実施していく予定となっております。基本協定に基づいて、次の取り組みの実施を推進・発展させていくことで、北里大学として地域社会へ貢献していくとともに、当該領域における教育・研究をリードしていくことを目指します。

今後の取組み予定…

- ①フレイル、サルコペニア、軽度認知機能障害に対する健康講座の開催。
- ②団地・地域住民を対象とした、フレイル、サルコペニア、認知機能に関

する測定会の開催。

- ③団地内の生活支援型デイサービスにおける運動プログラムの監修・提供。
- ④北里大学の学生が教育の一環として各種取組みに関わり、地域リハビリテーションやヘルスプロモーションなどについて実践の現場で学ぶとともに、団地・地域住民との多世代交流を図る。
- ⑤上記取組みを通して得られるデータを研究成果として発表し、他団地への取組みに生かすとともに、地域・社会に貢献する。



地域住民を対象とした測定会の様子

東京2020オリ・パラ医療スタッフ活動報告

リハビリテーション学科 教授 高平尚
理学療法専攻 准教授 渡邊裕
スポーツ運動器理学療法 講師 河端将司

スポーツ運動器理学療法研究室の河端です。

先の東京2020オリンピック・パラリンピックでは、当研究室から高平尚伸教授、渡邊裕之准教授、私河端が医療スタッフボランティアの活動に参加しました。様々な情勢で複雑な大会となりましたが、TOXO2020の一員として携われたことを誇りに思います。この経験を次世代に引き継ぎ、国内外で活躍できるスポーツ理学療法士の育成に尽力したいと思います。

◆◆◆◆◆
た。主な仕事は、熱中症、COVID-19感染、外傷や障害などの予防と初療です。大画面でのNOO3からの応援、連日のPCR検査はまさに今の時代ですが、すでに夢の一時のようです。(高平)

1964年生まれの私にとって東京オリンピックに関わることは大きな意義があります。57年経過し今回貴重な経験でした。大坂なおみ選手が開会式で最後の聖火ランナーでしたが、私が関わったのはまさにテニスです。私は日本テニス協会(CIT)から選手対応ドクターに指名されました。ITIA医事委員会のメンバーになり、英語が話せること、BLSの資格を有すること、国際大会でのスポーツドクターの経験があることなどが必須条件です。試合は無観客で行われ、歓声のない閉鎖的な大会で

◆◆◆◆◆
私はオリンピックは大磯分村、パラリンピックは晴海本村のポリクリニックを担当しました。



東京オリンピック仕様で改修された日本のテニスの聖地「有明テニスの森」センターコートでの高平尚伸教授



選手村診療所(晴海)でパラ金メダリストと記念撮影する渡邊裕之准教授(中央左)



野球場(横浜スタジアム)の医務室救護班に参加した河端将司講師(右端)

を合わせて理学療法士が担当した選手・スタッフは約2700人を超えました。ポリクリニック内で働く日本人医療スタッフは、コロナ禍の厳格な管理体制の中で、世界のトップアスリートに対して充実した日本のスポーツ医療を提供できたと思います。言語の壁に悪戦苦闘する場面もありましたが、ポケットーク(パラ選手の多くは英語を話せません)を片手に身振り手振りで真摯に対応するスタッフの姿も印象的でした。紆余曲折で急務えながら、即座に一致団結できた日本医療チームの

能力の高さに改めて感銘を受けました。金メダルはすつしりと重かったです！(囁んでいません)(渡邊)

◆◆◆◆◆
オリンピック37年ぶりとなる悲願の金メダルで幕を閉じた野球競技。白熱の試合とは対照的な一面ブルーに冷めた無観客席。もしも、あのスタジアムが満員で埋め尽くされていたら、どれほどの感動を共有できただろう。大会が進むにつれて高まるピリつきを肌で感じながら医務室で待機しましたが、幸い大事で出動する機会もなく終えたことに安堵しています。大会運営に賛否両論の渦中でしたが、舞台裏の関係者やボランティアの献身的な姿に触れ、表舞台とは違った感動を持ち帰ることができました。(河端)



研究室に陳列された大会記念バッジや活動着

医療衛生学部附属再生医療・細胞デザイン研究施設紹介



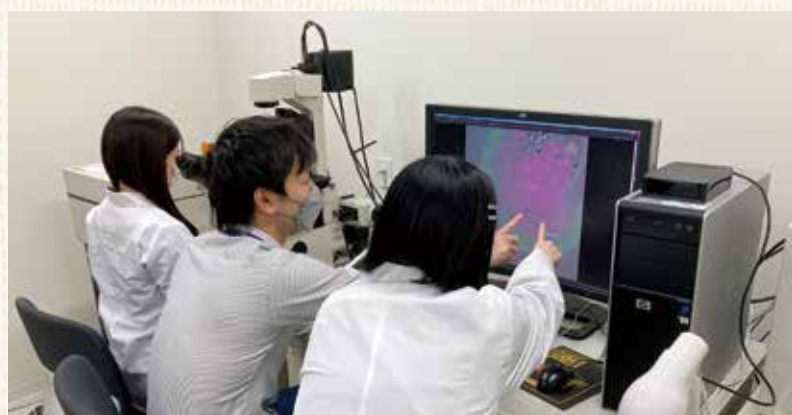
再生医療・細胞デザイン
研究施設施設長
解剖・組織学 教授
門谷 裕一

附置研構成員 募集中です

医療衛生学部附属再生医療・細胞デザイン研究施設(以下附置研)が(新)A1号館6階に専任教員用の居室と構成員が共同で利用する研究スペースを備えた研究室を構えて1年が経ちました。今回、編集委員会より、AHSニュースの紙面をお借りする機会を得ましたので、改めて附置研の概要と新しい研究室とをご紹介しますと思います。

附置研は北里大学に30ある附属施設の1つで、2006年の設立です。臓器(機能)再生と細胞治療とを中核とした生命科学領域の基礎研究・応用研

究と高度専門教育に取り組むことを目標としており、2021年11月現在で専任・兼任の構成員(教員・研究員)と外部評価委員の総勢43名が細胞デザイン研究開発センター・臓器再生研究開発センター・機能再生研究開発センター・動物実験部門と外部評価部門に分かれて活動しています。

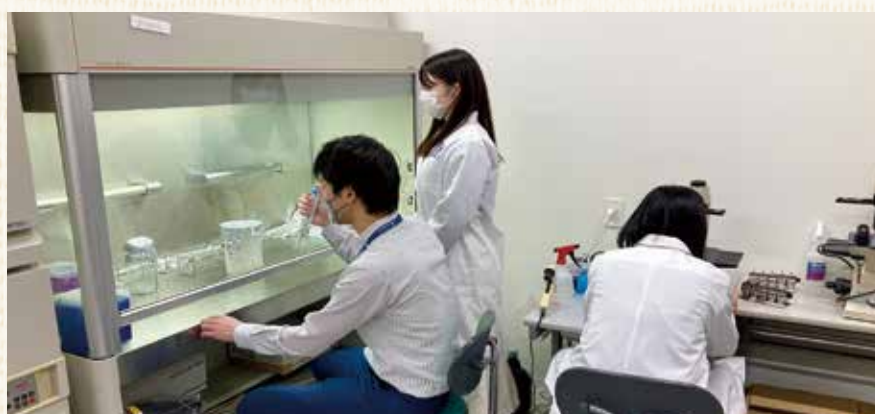


附置研の設備・備品(1)共焦点顕微鏡

これまでは構成員が夫々の分野で独自に成果を挙げていましたが、今は個々の研究成果・技術を足掛かりにしたより大きな共同研究体として臓器再生や細胞治療の本丸に乗り込むための研究基盤として育ちつつある段階にあります。

このような芽を育むため2017年度から構成員からの公募によるプロジェクト研究費を設け、毎年2〜3件に配分しています。また、年度末にはプロジェクト研究の成果を発表していただく附置研セミナーを開催しています(昨年度は新型コロナウイルスのためリモート開催)。さらに、各センター・部門は、年度ごとの持ち回りで、備品を購入し、これは学部における研究環境の整備にも一役買っています。

わたしたちは再生医療を幅広くとらえ、数理科学・シミュレーション科学・精神科学・心理学などを含むより幅広い分野の教員・学生が集まり、アイデア・技術・情報の共有のための基盤として附置研を充実させていきたいと考えています。本学部の教員の皆様方には、是非、構成員となり附置研の枠組



附置研の設備・備品(2)培養室

みを活用して研究を展開していただきたいと思います。

附置研ホームページ

<https://www.kitasato-u.ac.jp/ahs/subject/design.html>



新任教職員紹介

医療工学科診療放射線技術科学専攻
放射線安全管理学 講師 我妻 慧



神奈川県横浜須賀市出身。駒澤大学卒業後、がん研有明病院で診療放射線技師、東京都健康長寿医療センター研究所で研究員として臨床・研究経験を積み、九州大学大学院で保健学博士取得。専門は核医学技術学、核医学、放射線管理学。

診療放射線技術科学専攻 講師着任の挨拶

みなさん、はじめまして。2021年5月より医療衛生学部医療工学科診療放射線技術科学専攻の講師として着任しました、我妻 慧（わがつま、けい）です。

私は2008年に駒澤大学診療放射線技術科学科を卒業後、がん研有明病院核医学チームに診療放射線技師として配属されました。がん研有明病院に入職して程なくして同僚に研究の誘いを受け、研究活動を始めました。研究を通して、課題解決によって新たな知見を得る様々なスキルが身につく、学会発表や論文として結果が残る評価して貰えるなど、生来ロールプレイングゲームが好きで自分にとって努力した分の成果がわかりやすい研究は肌に合いました。また、私は大学院修士課程に進学した頃から大学教員になる目標を立てました。研究する楽しさと目標達成がモチベーションとなり、博士課程への進学や研究職への転職に繋がり、今となっては研究はライフワークのような立ち位置になりました。

近年の医学分野は驚くべき速度で発展しています。将来、医療の現場で働く皆さんはその速度に取り残されず、最新技術を駆使して病院業務に携わらなければなりません。そのために大学で身に付けることができる知識や論理的思考は将来の準備として重要な役割を担っています。皆さんにはこの先の自分の人生の目標を持ち、目標を叶えるために何を考えるかを考えながら大学生活の4年間を楽しんでいただきたいと思っています。

医療検査学科臨床検査学

助教 今井 基貴



千葉県出身。北里大学医療衛生学部医療検査学科卒業、北里大学大学院医療系研究科修士課程・博士課程修了（医学）。趣味は釣り、バレーボール、ツーリング。

臨床検査学研究室 助教着任のご挨拶

2021年4月1日より医療衛生学部医療検査学科臨床検査学の助教として着任いたしました。この度、母校への着任という大変光栄な機会をいただき、これまでご指導いただきました先生方、お世話になりました方々に心よりお礼申し上げます。

私は北里大学同学科の19期生として卒業後、本学大学院にて修士号・博士号を取得いたしました。修士課程では、食事成分による抗糖尿病効果のメカニズムの解析を、博士課程では肥満などの生活習慣病を基盤とした、パーキンソン病発症機序の解明を目指した研究を行ってまいりました。臨床検査学研究室では、がんをテーマとした新たな研究分野になりましたが、何事にも積極的に挑戦し研究の幅を広げたいと思っています。

私自身、大学在学中に多くの先生方から臨床検査技師になるための知識や経験だけでなく、医療人として、そして、人として大切なことをたくさん学ばせていただきました。そのおかげで、今の自分があると思っています。ですので、学生のみなさんにも学問だけでなく、+αを教えられるような教員になりたいと思っています。

今後は、自らも日々成長できるよう精進を重ねながら、教育・研究に精一杯取り組む所存です。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新紙幣肖像画贈呈式に参加して

学部長 北里 英郎

2021年8月26日に財務省にて、2024年上期から流通される新紙幣コンテ画贈呈式に、父、一郎の代理として参加いたしました。コンテ画とはフランス人コンテが発明した天然顔料を加工した画材のことで、写真のように柔らかな多様な線を描くことが出来、写真の黒に近い色彩を表現できるという特徴を持った画材とされています。贈呈頂いた、新千円札に使用される北里柴三郎のコンテ画（写真参照）は、財務省の工芸職員の方が作成してくださりましたが、実際に使用される新千円札銀行券の版面の大元となる原版彫刻に必要不可欠な工程であるとのことでした。本当に髭、眉一つ一つが丁寧に描かれており感銘いたしました。

画像の50歳半ばの北里柴三郎は、白金の北里柴三郎記念館より写真提供されましたが、所長であった伝染病研究所を白金台に移転し、恩師であるコッホご夫妻を日本にお迎えした円熟期であったと思われます。当日は、渋沢家（新一万円紙幣）、津田家（新五千円紙幣）の皆様とも記念撮影、懇談をさせていただきました。

この新紙幣が使用開始される2024年上期には、CONTEが終息し、国民の皆様が笑顔で使用できることを切に願っています。



北里柴三郎のコンテ画



学部長 北里英郎、渋沢家、津田家の皆様との記念撮影

旧A1号館、長い間おつかれさまでした

2021年春、衛生学部時代からたくさんの学生を送り出してきた学び舎の解体工事が始まりました。
思い出が詰まったこの校舎の最後の勇姿を定点写真におさめました。

GOAL



▲ 2021.9.28 向こうの空が見渡せるようになりました。

START



▲ 2021.3.22 今日から解体が始まります。



▲ 2021.9.17 もう一息です。



▲ 2021.8.5 養生シートが貼られていないので工事の様子がよく見えます。



▲ 2021.9.15 建物が低くなり始めました。



▲ 2021.8.19 支柱を残した解体、見事です。



▲ 2021.9.8 曇りの日も作業は続きます。



▲ 2021.8.20 ロングアーム重機を操縦するオペレーターの技術は感動ものです。

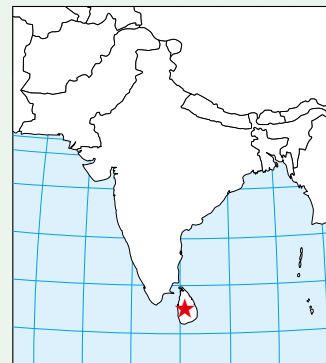
アマラシリ・モハン講師のお国自慢!!

●スリランカ編



スリランカと日本の架け橋に…

保健衛生学科
環境衛生学 講師
アマラシリ・モハン



あなたはセイロンティーを飲んだことがありますか？実のところセイロンティーは、私の母国であるスリランカで生産されているのです。スリランカはインド洋に浮かぶ小さな島国です。沿岸地域は常夏で、一方山岳地帯は一年中涼しいです。スリランカは国の面積が小さいので、車を少し走らせるだけで寒暖差のある地域に移動できます。

スリランカ人の主食は米とカレーです。毎日のようにカレーを食べるため、その種類も豊富です。野菜カレー、魚、お肉のカレー、果物を使ったカレー等々、それぞれ違うスパイスや調理法を用いて毎日のように美味しいカレーを食べています。

スリランカは、シンハラ仏教徒が過半数を占める多宗教、多民族の国家です。主に南部の人々はシンハラ語を話し、北部の人々はタミル語を話します。近くにインドがあるため食べ物、宗教、音楽等は強く影響を受けています。スリランカは1505年から1948年までポルトガル、オランダ、そしてイギリスによって植民地にされていたため、現在のスリランカの建築と食品にも、欧州の文化の片鱗が見られます。



私が好きな景色の一つ、Dumbara滝

スリランカはあらゆる目的を持った観光客が楽しめる

場所です。例えば動物が好きな人なら、数々の国立公園で何百頭もの野生の象やヒョウを見ることができます。美容に興味があるのならアーユルヴェーダのエステを楽しむこともできます。普段の喧騒から離れてのんびりしたい人は、美しいビーチで日がな一日リラックスすることもできます。スリランカにはシーギリヤロックをはじめ8つの世界遺産があるので、そこを訪れるのも良いでしょう。休暇の際は、観光の候補にスリランカを入れて頂ければ嬉しいです。

最後に、日本に抱く思いをお話します。私が初めて日本を知ったのは幼少の頃、テレビドラマ「おしん」を見た時でした。当時スリランカ人の多くが「おしん」に熱中しており、おしんを見て、日本人の誠実さ、勤勉さに感銘を受けました。スリランカ人に親日家が多いのも、おしんが影響しているのではないかと思います。ご縁があって、私は幼少の頃感銘を受けた日本の地で働いています。日本に来て多くの日本人に親切にして頂きました。私が日本に抱く印象は、かつて「おしん」を見た時と全く変わりません。これからも日本の方々に優しくして頂いた恩を忘れず、仕事に励んでいきたいです。そしていつか、スリランカと日本の架け橋になればと思っています。



スリランカ最大の都市であるコロンボ



ヨーロッパの影響を受けた街並みのゴール旧市街は、街を囲む要塞とともに世界遺産に登録されています。

編集後記

AHS 29号をお届けします。本号では冒頭にOVCORの特集を掲載しました。この編集後記を書いております現時点ではウィルスは大変大人しくしておりますが、大変頭の悪いウィルスでいつまた猛威を振るうかもわかりません。一備えあれば憂いなし。油断せず準備をしたいものです。そのようなコロナ禍中、オリンピックが感動的に行われました。個人的にスポーツに感動しやすい私は涙の流し続けでした。今後、本学の学生スポーツ(運動部)や文化部も積極的に部活動が展開できるように祈るばかりです。本号では他に懐かしい旧A1の解体や新しい仲間達の紹介等、多くの記事で満載です。お楽しみください。

編集委員会

委員長 石川 均
委員 深瀬 裕、黒崎 史子、太田 悦朗、河端 司、藤村 将子、川島 芙子、志津 野、竹上 佳子、井上 希